

**第206回  
沖縄地方交通審議会  
船員部会 議事録**

令和8年2月19日（木）

沖縄総合事務局

## 第 2 0 6 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 令和 8 年 2 月 1 9 日 ( 木 ) 1 1 時 0 0 分  
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 1 階 「 共 用 会 議 室 A B 」

出席者 :

公 益 委 員	赤 嶺 委 員、大 城 委 員
労 働 者 委 員	松 本 委 員 ( web )、柴 田 委 員、大 城 委 員
使 用 者 委 員	亀 谷 委 員

沖 縄 総 合 事 務 局	宇 久 田 船 舶 船 員 課 長、 宜 名 真 海 事 振 興 ・ 防 災 危 機 管 理 調 整 官、 宜 保 課 長 補 佐、 桑 江 係 員
---------------	---

### 議 事 次 第

○ 開 会

○ 議 事

1. 第 2 0 5 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 に つ い て
3. 意 見 交 換

○ 閉 会

( 配 付 資 料 )

- |         |   |
|---------|---|
| 資 料 1 . | 第 2 0 5 回 船 員 部 会 の 議 事 録 ( 案 )           |
| 資 料 2 . | 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 ( 令 和 8 年 1 月 分 ) |

### 赤嶺部会長代理

定刻でございますので、第206回船員部会を始めさせていただきます。本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

### 事務局（桑江）

本日は、公益委員2名、web出席の松本委員を含め労働者委員3名、使用者委員1名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たし、本部会が有効に成立していることをご報告いたします。

続きまして配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

### 赤嶺部会長代理

それではまず初めに、前回、第205回の議事録の承認を諮りたいと思いますが、お手元の議事録案をご確認いただき、何かご質問はございますか。原案のとおり承認してよろしいですか。

～ 各委員より「はい」の声 ～

### 赤嶺部会長代理

異議がありませんので、承認されたものといたします。

続いて、議事の2「管内の雇用状況」について、事務局から説明をお願いいたします。質問は最後に受け付けたいと思います。

### 事務局（宜保補佐）

令和8年1月分の管内雇用状況等の概要についてご報告いたします。

#### ● 求人状況について

新規求人数は14件でした。

新規求人における内訳としては、

- ・ガット船に係る県内事業者2社より、機関士又は機関員2名、航海士又は甲板員2名、船長又は一航士2名
- ・タグボートに係る県内事業者1社より、機関士又は機関員2名、航海士または甲板員4名
- ・台船に係る県内事業者1社より、甲板員2名

前月に比べ6件減少、また、前年同月に比べ6件増加となっております。

月間有効求人数は37件でした。

前月に比べ3件増加、また、前年同月に比べ18件増加となっております。

月間有効求人数の内訳は、商船等36件、漁船1件となっております。

月末未済求人数は25件でした。

● 求職状況について

新規求職数は3名でした。

前月に比べ2名減少、また、前年同月に比べて1名減少となっております。

新規求職数の内訳は、商船等3名となっております。

● 新規求職した者の退職理由又は求職理由別内訳について

1月の新規求職者3名の退職理由は、海上勤務中の転職希望が1名、陸上勤務中の転職希望が1名、新卒者等が1名となっております。

新規求職した者が所属していた会社所在地は、管内が1名、管外が2名となっております。

● 求職状況について

月間有効求職数は15名でした。

前月に比べ1名減少、また、前年同月に比べて4名増加となっております。

月間有効求職数の内訳は、商船等11名、漁船4名となっております。

月末未済求職数は12名でした。

● 成立状況について

1月の成立は1件でした。

● 求人倍率について

1月の月間有効求人倍率は、2.47倍でした。

前月に比べ0.34ポイント増加、前年同月に比べ0.74ポイント増加となっております。

● 失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は4名、支給延べ件数は4件です。

基本手当支給額は、商船等2件で311,458円、漁船2件で385,336円。総支給額は696,794円でした。

以上、令和8年1月分の管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

**赤嶺部会長代理**

ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問などはございますか。特にないようですので議事3意見交換に移りたいと思います。何かございますか。

## 柴田委員

よろしいでしょうか。今日の午後から沖縄水産高校で開催される漁業ガイダンスに参加してきます。全国から業者が来られて、漁業の魅力を伝えながら若い方たちを漁業に取り込もうと毎年開催されているものです。沖縄水産高校では漁業ももちろん勉強するのですが、漁船を就職先にする子は多くないのが現状です。元々水産高校は水産に関わる人材を育てる学校ですが、漁業の就職口が少なかったのか色々な歴史があって中々就職に繋がっていません。また、商船の求人が非常に増えていって、沖縄水産高校でも商船系に就職する方が多い傾向にあります。今日のガイダンスには県内の漁業関係者も来られますが、活発に漁業の魅力をうまく発信していかないと商船へ就職する流れを変えるのは難しいと思っているので、漁業の方も頑張ってもらいたいという思いも込めて、今日のガイダンスに参加してきます。

皆さんも関心ございましたら、例えば市場の見学も申請があればいつでも受けていただいていますし、今は魚の値段も上がっていて、漁業者にとっては魚価が上がるのは非常にいいことですが、庶民からしたら高くなってきたという印象はあるので皆さんの知恵をいただきながら漁業関係者に関する理解を深めていただけたらいいかなと思っていますのでよろしくお願いします。また、最近マルシップや漁船での事故が増えています。昨年末にも宮古島で行方不明になる等ルーズなところもあるような印象なので、しつかり的確な運用をしていただけるように指導をよろしくお願いします。

## 赤嶺部会長代理

漁業ガイダンスの対象は3学年全員でしょうか。

## 柴田委員

1、2年生と専攻科の1年生が対象で合計100名ぐらい参加します。全国でガイダンスが実施されていますが、学生数は沖縄水産高校が一番多いとのこと。来月は宮古総合実業高校でも開催が予定されていますが、そちらは20名ぐらいなのでそれに比べても非常に大きな規模ですね。

## 赤嶺部会長代理

県内外あわせてどれぐらいの企業が参加されるのでしょうか。

## 柴田委員

20社いかないぐらいです。マグロ、イカ釣り、カニ、定置網漁、海外巻き網などの業者が参加されます。去年は捕鯨船も来ていました。

## 亀谷委員

先週の日曜日に沖縄県漁業就労支援フェアが沖縄県水産会館であり、参加者が28名、漁船は11か所来て対応していただきました。2～3か所まわって話を聞いている方もいて、少しずつですが漁業をやりたい人とのマッチングができる環境ができてきたと感じています。漁船の親方は募集の仕方が上手ではなくて、たくさん獲れたら収入もたくさんあるけど獲れなければならないという伝え方をしている節があるのですが、それでは新規就業者に受け入れられない時代になっています。給料や休日がどれくらいあるといったことをしっかり伝えていかないと特に学生たちには響かないので業界内でも工夫していかないといけないと思っていますところでは。

話は変わりますが、全国には800ぐらいの漁協があり漁協の人材を育てる組合学校が千葉にあります。その組合学校の参加人数が毎年減ってきていて次年度はついに応募者0名になりました。漁業者の高齢化、減少ということも相まって、漁協の職員になる人の割合も減っている状況です。職員が1人学校に行くと人手が足りなくて厳しいということもあるので、組合学校のあり方を考えないといけない時期に来ていると感じます。組合も含めて漁業者の新規就労は違うフェーズに入ってきていて、それに対して今までとは角度を変えて対応していかないと厳しいと思っていますところでは。

## 赤嶺部会長代理

組合学校は基本的に新卒者の方が対象になるのでしょうか。

## 亀谷委員

新卒者がメインではありますが、組合に入った後でも構いません。沖縄は3～4年に1回の頻度で1人参加させていますが、漁協で2～3年働いて慣れてきてから学校に行かせる場合が多いです。将来の幹部候補生を育てるイメージで送り出すのが沖縄のやり方です。

## 柴田委員

若い方たちは「こういう漁をやっているんだ」「こういう漁師さんがいるんだ」というのをYouTube等のSNSで見えるわけですが、その理想と現実にギャップがあるという話がよく言われています。映像では楽しそうに見えたのに現実には厳しくて、映像で見ると楽しいイメージで入ると漁業はキツイとなってしまいます。待遇面の具体的な提示はもちろん大事ですが、普通高校の学生や、漁業フェアに来られる一般の方は現場のイメージを持っていないので、船を見せる、1航海してみるところから始めないと、いきなり1か月漁に出て日中も夜中も仕事するのは大

変だと思えます。

### 亀谷委員

沖縄の漁業も1～2週間で帰ってこられる船がこれからはメインになってくると思います。実際ソデイカ漁も1～2週間で帰ってこられる船が増えているみたいです。逆に19tのような1ヶ月漁に出る船が衰退し、目に見えて隻数が減っているというのが現状で、沖縄の漁業も少しずつ変わっていくだろうと考えています。業界としてその変化にどうアプローチしていくかしっかり考えていかないといけないタイミングに来ていると感じます。

### 赤嶺部会長代理

19t船が減ると、食卓に並ぶ魚にも影響は出てくるのでしょうか。

### 亀谷委員

マグロは遠くまで行って獲るか近場で獲るかであって、マグロ自体は変わらないです。今は遠くまで行っても釣れるか分からない資源のようなイメージになっています。また、今の若い方たちは携帯が繋がらない状態で何週間も耐えるのは厳しいと思いますが、スターリンクを導入する場合毎月のコストがそれなりにかかるのでネット環境を整えるのも簡単ではありません。私たちの同世代は1年我慢して19t船に乗ってお金貯めて、このお金を元手に何かする人が何名もいましたが今はそうではないので、そういった意味でも船の形態が少しずつ変わってくるのではないかと考えています。

### 赤嶺部会長代理

漁業は一人親方でやるものだと思っていたので、そこに就職するというイメージがなかったです。

### 柴田委員

今も一人親方ではありますが、今までは親方に憧れて漁師になった方が育ってきて次の親方になるというラインでしたが、このラインが途絶えてしまっている状態です。自分たちの世代が引退したらそれでよく、下を育てる意識がない親方も多いので、漁師の高齢化も進んでいる中で、自分たちの業界のことをどう考えているのかと私は投げかけたいです。

### 事務局（宇久田課長）

よろしいでしょうか。県立高校の一般選抜の最終志願状況が出たので報告します。最終志願状況が2月17日に発表されまして、沖縄水産高

校海洋技術科が昨年の1.4倍に対して今年は1.23倍。倍率はやや下がりましたが大幅な変動ではありませんでした。志願者数はやや落ち着いたと見られます。宮古総合実業高校の海洋技術科が昨年の0.53倍に対して今年は0.95倍と大きく改善しております。定員近くまで志願者が戻り人気回復してきたと見られます。以上です。

#### **柴田委員**

総合事務局の船員確保の取り組みの成果が出ていますね。

#### **大城委員（労働者）**

船員に興味持つ子が少しずつ増えているのだと思います。

#### **松本委員**

よろしいでしょうか。みなさんご存じのとおり3月から労働協約改定交渉が始まります。2月17日に内部会議である各部委員会を行い、今年の要求方針を決定しました。今年は27日に要求書を提出し、交渉が3月2日を皮切りに行われます。中央では大型カーフェリー、内航2団体、全内航と協議が進められていきます。そういった中で3年連続中央では満額回答が得られているということで、今年も要求については各部門で若干異なるところはありますが満額回答を目指して交渉をやっていきます。その中で3月31日に決着できるように交渉を行っていくということになっております。共通認識のためにご報告でした。

#### **赤嶺部会長代理**

ありがとうございます。他にございますか。無いようでしたら次回の開催について事務局から説明をお願いします。

#### **事務局（桑江）**

3月の船員部会は、3月19日木曜日、当局5階の海技試験室で11時から開催いたします。後日、改めて案内の文書をメールで送付いたしますので、ご出席できない場合は事前に事務局までご連絡をお願いいたします。

また、今回の議事録案につきましても後日メールで照会させていただきますので、ご確認をお願いします。

#### **赤嶺部会長代理**

それでは以上をもちまして、本月の船員部会を終了といたします。お疲れ様でした。